

DPF装置の再生頻度を抑え、調子良く、長くご使用いただくために守っていただきたいこと



### 燃料(軽油)

- 必ず超低硫黄軽油(サルファーフリー軽油)をご使用ください。

日本国内のガソリンスタンドで販売されている軽油は通常これにあたります。水・ガソリン・灯油等が混入した粗悪なものを使用するとDPF装置の性能が早期に低下するだけでなく、故障の原因となります。

### エンジンオイル

- 必ずDPF装置搭載機専用ディーゼルエンジンオイル(クボタ純正オイルD10W-30 DH-2)をご使用ください。

指定オイル以外のもを使用すると、燃料消費の悪化やDPF装置の性能が早期に低下するだけでなく、故障の原因となります。



- 使用前にエンジンオイルの点検と定期的な交換をしてください。

エンジンオイルが劣化すると、エンジンの性能が発揮できなくなります。



### 運転

- 必要以上の暖気運転又は長時間のアイドリングは避けてください。

自動再生に必要な条件が整いにくく、PM(ススなどの微粒子状物質)の詰まりが早くなり、再生の頻度が高くなります。



- 急加速や不要なアクセル操作は避けてください。

燃料消費が悪化するだけでなく、PM(ススなどの微粒子状物質)の詰まりが早くなり、再生の頻度が高くなります。



- 不必要な再生中断はしないでください。

PM(ススなどの微粒子状物質)の詰まりが早くなり、再生の頻度が高くなります。

- DPF装置再生完了後5分程度継続運転をしてください。

DPF装置の周辺が高温になっていますので、継続運転を行い冷ましてください。

### DPF装置の再生に関する情報

- DPF装置の再生は、10分から30分程度かかります。

外気温、排出ガス温度およびエンジン回転数によって時間は前後します。



- 作業終了後などのエンジンが充分暖まっている時に行うと比較的短時間で再生を完了できます。

- DPF装置の再生時にはエンジン音が変わりますが異常ではありません。

### 警告

- 排気ガス中毒になるおそれがありますので、納屋や倉庫など換気の悪い場所では再生処理を行なわないでください。
- DPF再生中は排出ガスや排気管、マフラが高温になります。再生処理を行う前に、周辺に発火する原因となる燃えやすいゴミなどがあれば取除いてください。
- 再生中は、排気管やマフラ及び周辺部に人を近付けしないでください。また、コンバインからは離れないでください。
- 自動再生モードでは刈取作業中でも再生処理が始まりますので、わらなどの燃えやすいものが多い場所ではコンバインを停止しないでください。コンバインを停止する場合は、排気管の後方にわらなどの燃えやすいものが少ない場所に停止してください。
- DPF再生中とその直後5分程度は排気管やマフラが高温ですので、手こぎ作業をしないでください。
- 一日の作業終了後は、排気管やマフラ及びその周辺にわらなどの燃えやすいものが溜まっていないか点検し、溜まっていたら取除いてください。

# クボタコンバインDPF装置

Diesel Particulate Filter

## ディーゼル微粒子除去装置

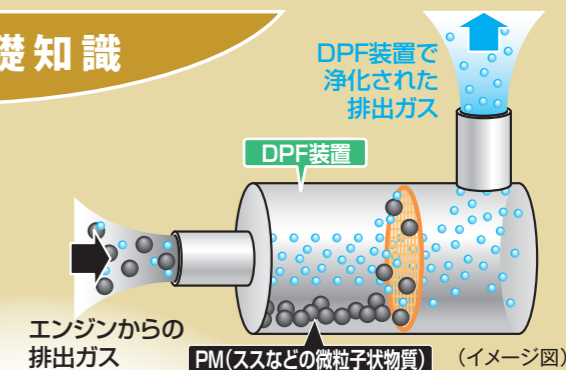
### 調子よく、長くご使用いただくための重要ポイント

### DPF装置基礎知識

Q1

#### DPF装置(ディーゼル微粒子除去装置)とは?

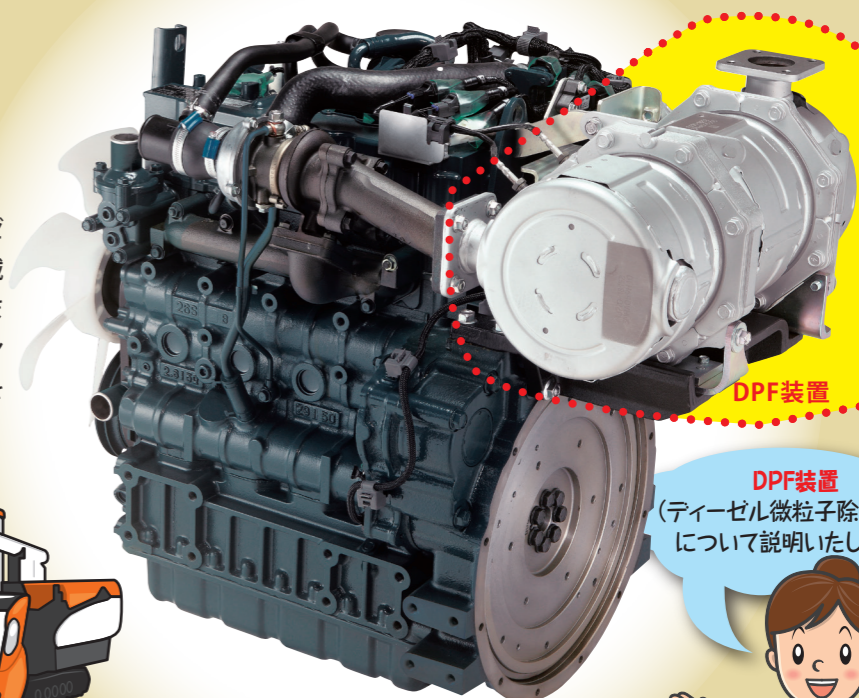
ディーゼルエンジンと装置の間に装着され、排出ガスに含まれる有害なPM(ススなどの微粒子状物質)を捕集する除去フィルタ(DPF)を内蔵した装置です。



Q2

#### なぜDPF装置(ディーゼル微粒子除去装置)が必要なのか?

大気汚染抑制のため、ディーゼルエンジンを搭載した農業機械にも排出ガス規制が導入されました。クボタではDPF装置付エンジンを搭載することで規制値をクリアしています。



DPF装置付エンジンで規制値クリア!



DPF装置(ディーゼル微粒子除去装置)について説明いたします。



Q3

#### DPF装置(ディーゼル微粒子除去装置)の再生(きれいにする)とは?

排出ガス中から取り除かれたPM(ススなどの微粒子状物質)がフィルタに一定以上たまり、排出ガスの熱を利用して燃焼され、フィルタとしての機能を復活させます。これを再生といいます。定期的に再生を行うことで、DPF装置が持つ性能を十分に発揮することができます。再生には作業中に機械が自動で行う「自動再生」と、作業を中断してお客様ご自身で行っていただく「駐車再生」があります。

#### 自動再生



作業中に機械が自動で行う。

#### 駐車再生



作業を中断してお客様ご自身で行ってください。

# DPF装置の再生(きれいにする)方法

このリーフレットは DPF 装置を取扱う上での最小限のポイントのみ説明しています。詳細は取扱説明書を参照してください。

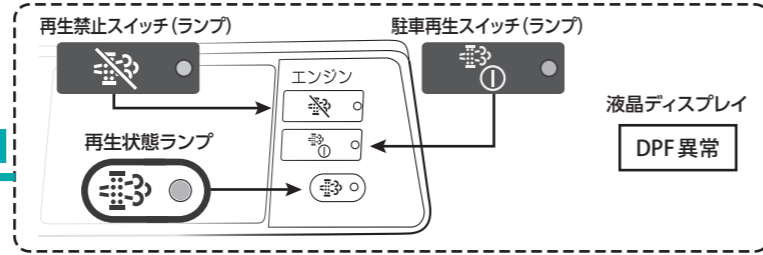
再生は基本的に機械が自動で行います。エンジンを始動すると自動再生モードが自動的に選択されます。

- 自動再生** ▶作業中に機械が自動で行います。
- 駐車再生** ▶作業を中断してお客様ご自身が手動で行ってください。
- 押し** ⇒スイッチ(ランプ)を押して、お客様が操作してください。

**警告** DPF 再生中は排気ガス中毒になるおそれや高温状態の排気管やマフラに接触してヤケドや火災が発生するおそれがあります。裏面の警告を必ず守ってください。

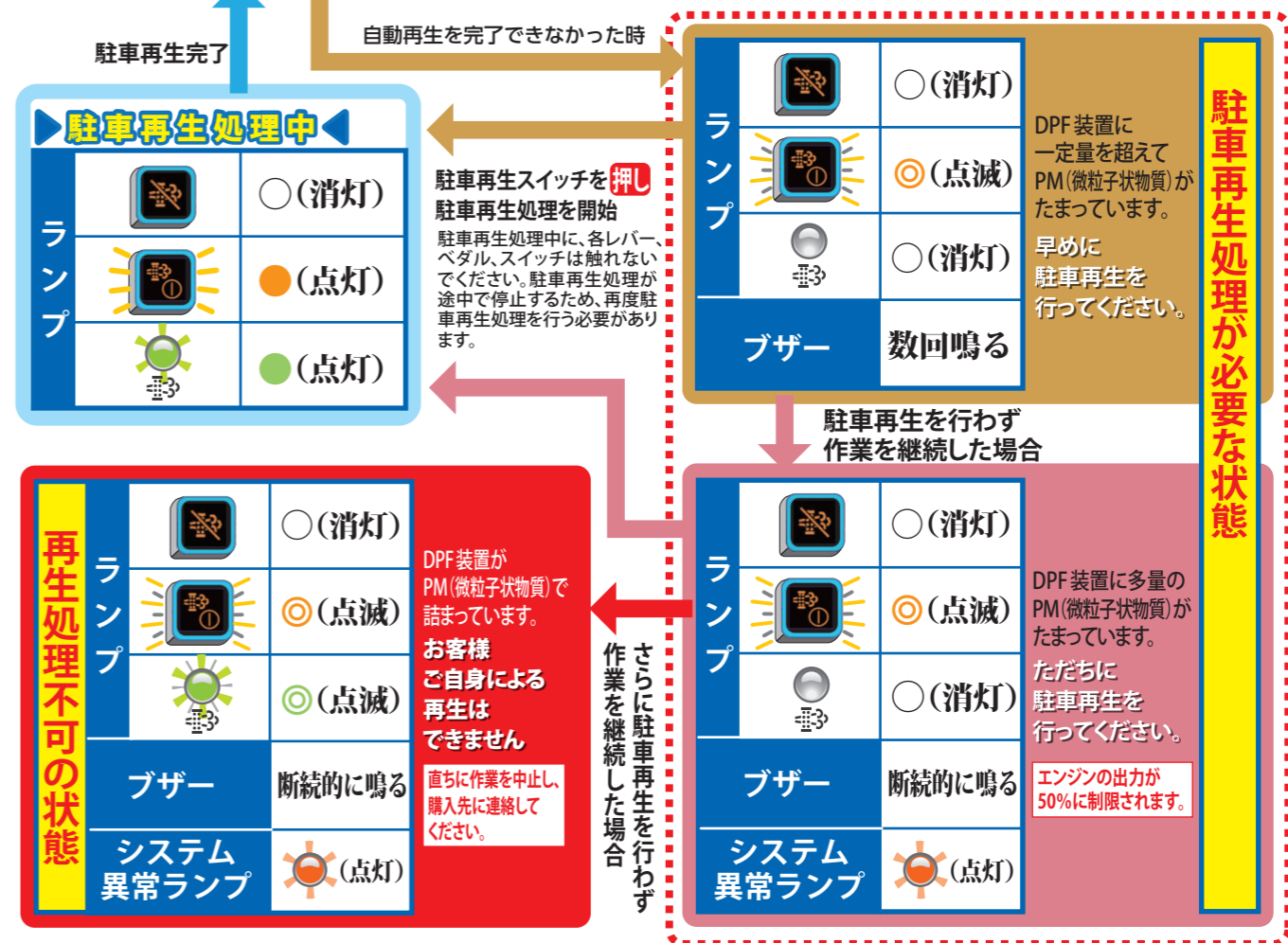
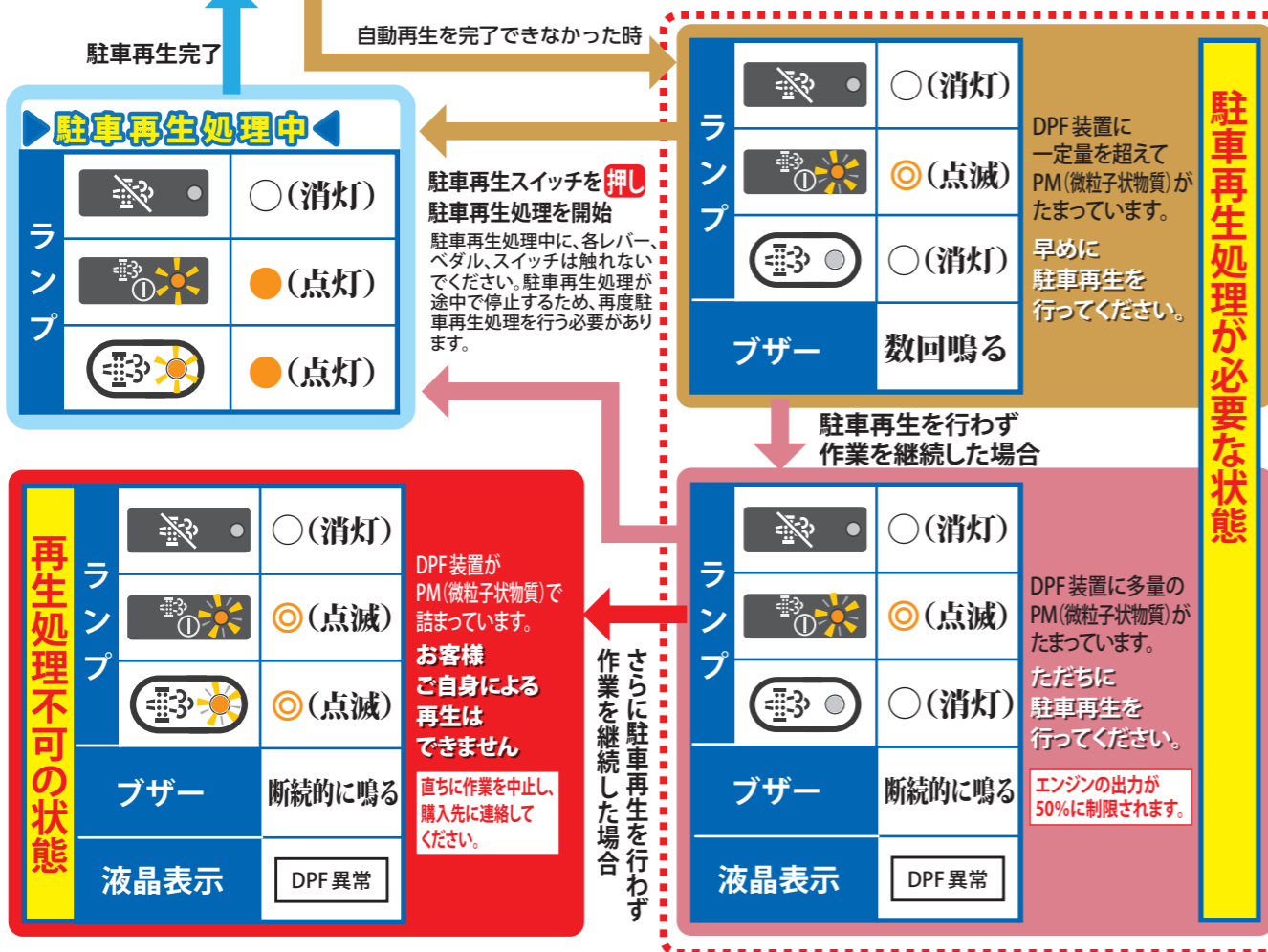
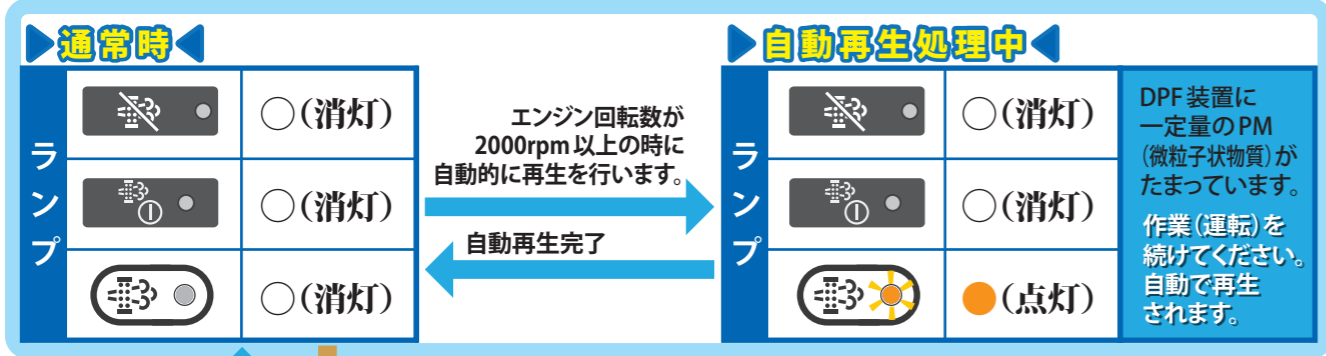
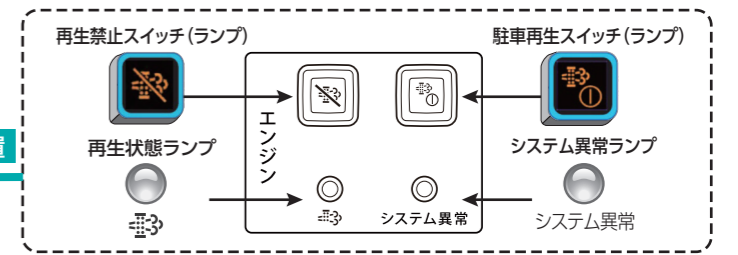
## ER・WRHシリーズ

操作装置



## WRシリーズ

操作装置



### 駐車再生

再生禁止スイッチ(ランプ)のランプが「点滅」した場合

屋外で周りに燃えやすいものがない安全な場所に移動

- 作業レバー [切]
- 主変速レバー [停止]
- 駐車ブレーキ [ロック]
- アクセルダイヤル [ ]
- 再生禁止スイッチ [切] (消灯)

再生禁止スイッチ(ランプ)を押す

### 再生を「禁止」したい場合

再生禁止スイッチ(ランプ)

再生処理を禁止(中止)するスイッチです。納屋や倉庫など換気の悪い場所や周辺に燃えやすいものがあった場合など、再生処理禁止(中止)するときにスイッチを押してください。

### 駐車再生

駐車再生スイッチ(ランプ)のランプが「点滅」した場合

屋外で周りに燃えやすいものがない安全な場所に移動

- 作業レバー [切]
- 主変速レバー [停止]
- 駐車ブレーキ [ロック]
- アクセルダイヤル [ ]
- 再生禁止スイッチ [切] (消灯)

駐車再生スイッチ(ランプ)を押す

### 再生を「禁止」したい場合

再生禁止スイッチ(ランプ)

再生処理を禁止(中止)するスイッチです。納屋や倉庫など換気の悪い場所や周辺に燃えやすいものがあった場合など、再生処理禁止(中止)するときにスイッチを押してください。